

# 安全衛生新聞2022年

発行日：5月1日 発行人：イタックス中央安全衛生委員会



私たち中央安全衛生委員会は、皆さんの健康・安全・安心を願って活動しています。

## ※働く上で知っていてほしい、労災について※

労働災害とは、労働者が労務に従事したことによって被った**負傷、疾病、死亡**などです。

4月の労災発生は以下の通りです。  
業務中、通勤退勤時の事故・・・死亡 0件  
傷病程度休業4日以上 **1件**  
傷病程度休業4日未満 **1件**

事故の状況を早急に確認して対策する必要があるため、**管理者への連絡は、すばやく**お願いします！！

思わぬところでの労災も発生しています。決められたルールを普段から守り、出来る予防策を確実に実行しましょう！！  
時間にゆとりを持ち、交通事故にも気を付けよう(^^)／

業務中や通勤中に事故が発生したら、なるべく病院受診の前に、責任者や担当者へ連絡をして一緒に病院へ行き、書類の事など一緒に確認するようにしましょう!!!

## SDG s を考えよう



## 3 R その③Recycle × SDG s

SDG s を考えるテーマは3回に分けて3 Rについてお伝えしています。最終回は「**リサイクル**」です。リサイクルは人間から排出された資源を再度回収して利用することです。日本では古くから「ちり紙交換」などによる紙リサイクルが行われ、ほかにも古着・古布、アルミ缶、スチール缶、ガラス、蛍光灯、電池類、ペットボトル、タイヤ、食用油などがリサイクルされています。日常でも学校等で廃品回収があったり、新聞販売店等の古紙回収やスーパーの入口でペットボトルやプラスチックトレイ、アルミ缶等の回収BOXがありますよね。紙は再生紙、プラはプラ製品としてモノからモノへリサイクルされるだけでなく、分子に分解されてから新たな姿や素材へリサイクルされるものも沢山あります。「ゴミとして捨てる」の前にきちんと分別して資源回収に出しましょう！

SDG s とは・・・SDGsとは

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。





5月8日は母の日でしたね🌸日頃の感謝や愛情をお伝えできましたか？世界中で母の日の存在していてその日にちはバラバラだとご存じですか？そもそも日頃の母の苦勞をねぎらい、母への感謝を表す日ですが、アメリカで女性参政権運動家ジュリア・ウォード・ハウが、夫や子どもを戦場に送るのを今後絶対に拒否しようと立ち上がり「母の日宣言」を発したことがきっかけとなり、その娘が亡き母を偲んで白いカーネーションを贈ったことが母の日の起源とされています。その後アメリカで5月の第2日曜を母の日に定められたことに日本も倣ったようです(´ω`)インドネシアは12/22です☆因みに、日本では母親が健在の場合は赤いカーネーションを贈り、母親が鬼籍に入っている場合は白いカーネーションを贈ることが一般的です🌸

**カーネーションの花言葉【無垢で深い愛】**

☆母の日にオススメの色別 花言葉☆

赤「母の愛」「愛を信じる」「熱烈な愛」

ピンク「感謝」「上品・気品」「温かい心」「美しい仕草」

オレンジ「純粋な愛」「熱愛」「清らかな慕情」

紫「誇り」「気品」

青「永遠の幸福」

☆お花の本数に意味があるの！？

花の本数には以下の意味が込められていると言われています。

1本→【運命の人はあなた】 8本→【思いやりに感謝】 11本→【最愛】

など、一部抜粋ですが意味を知ると深いですね(´▽`\*)

是非、今後もお花を贈る際のご参考にされてください☆彡

今月の  
サラメシ

さあて今月の「サラメシ」は鹿児島SO古郡さん★GWで趣味の釣りを満喫した際の「THE 俺メシ」海辺で最高の外ごはんですね～！！  
普段イクメンで有名な古郡さん、この日は友人と朝5時から釣りだったようです(´Д`)  
因みに当日釣れたのは何と【クロ!!】刺身にして食べたそうですよ～♪



発行人：鹿児島安全衛生委員会メンバーです★

MAX イタックス



お知らせ☆電話やメール、面談でメンタルヘルスへの相談受付けています。  
お仕事でお悩みの事などあれば、イタックスの相談メールか相談電話にご連絡ください☆共に受付は24時間OKです。  
返信は時間帯や曜日により翌日以降になる可能性もあります。

✉soudan@itaxweb.co.jp

電話☎0120-10-2430 (社員番号必要です)

担当者のみに分かるようになっていきますのでご安心を！  
使用方法が分からない場合は、中央安全衛生委員会までご連絡ください。

(099-210-2430)

